

～ 職業奉仕(職業の理念と実践) ～



ロータリーへの入会は森年正会員のおかげです。入会の動機は個人でできない奉仕を団体でやる事に参加させて頂く事です。

私が石材店を継ぐことになった理由

高校一年の12月に父が病で倒れて動けない、話せない人となってしまう、そのチャンスが私に、石材業へ入る幸福となりました。幸いにも父が残した石を買ってくれる石屋さんがいたので、翌年から土日に市内の石屋さんにセールス、注文取りに回りました。月に売り上げ25万円～30万円を目標としていましたので、土日に売り上げれば、月曜から金曜まで学校へ行っても困りませんでした。

父親は私が20才になってすぐ脳溢血で亡くなり、姉はその一週間前に結婚し、母親と二人になりました。これは二人で楽に石屋ができるなと思っていたら、今度は母親が癌になり翌年亡くなってしまいました。色んな方は「あなた一人でかわいそうね、不幸だね。」と言いましたが、そうではなく、何でも一人ででき、意見が食い違うことも、反対する人もいない。「あなたの方が不幸でしょ、私ほど幸せな人間はない。」と言っていました。

市内の石材店のレベルアップを目指した
仕事の機械化と合理化、労働環境の改善(利益の向上、納税の指導、労災の加入、健康診断、後継者指導)

昭和48年(30歳)静岡市石材工業組合長となり、静岡県石材組合結成を目指す

静岡県内の石材店間の情報交換と親睦につとめ、静岡県石材共済会を設立する。

昭和54年より福島県にて採石業を開始、

その後全国の石材業者で組織する日本

石材協会に入り、特に労働安全と労災

保険料率の低減化を行った。

採石業の労災保険料率

一番高かった時 $\frac{124}{1000}$ 現在 $\frac{71}{1000}$

現在日本石材産業協会を設立し、あらゆる石材関係者(小売店、卸業、輸入商社、建築、墓石など)の加入につとめ、平成13年に450社で開始し、現在1,050社となります。

日本石材産業協会の主な活動

墓石ディレクターを制度化

墓地、墓石の地震対策の研究(昨年2,000万円を投じて耐震の実験を行い、本として出版)

ジャパNSTONEフェア等を行っている。

日本の石材に関する、多方面に対する努力を協会はしています。又、中国や韓国との話し合い等、外国との関係も、少しずつ始まりました。現在、副会長をやっています。

委員会報告等

- 米山委員会(秋山委員長)
今月は職業奉仕、米山月間です。7名の米山功労者。
- 国際奉仕委員会(佐藤副委員長)
11月4日にブラジルより4名の方がいらっしゃいます。

出席報告 中安委員長

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	—	—	—	—	—	—	—
前 回	10/16	53名	41名	12名	77.3%	名	
本 日	10/23	53名	43名	10名	81.1%	(名)	—